



女性活躍推進委員会

On・nada 調査隊

JR九州労働組ニュースNo.39で報告した4月20日の「女性組合員セミナー&意見交換会」のグループディスカッション等に出された意見をまとめてみました。今回参加されていない皆さんも、ぜひ分会や支部・地本の役員にご意見を聞かせてください！お待ちしております。



女性特有の健康に対する不安はありますか。

- ・生理休暇を取得したいと思っても男性の上司に申告しにくい。
- ・生理の症状が重く、月に2日だと足りない。(そのような方もいることを知ってほしい！)
- ・休暇取得の際、代わりに働く人を立てないといけなくて言いにくい。(我慢している人もいます…)
- ・生理の症状が重くても乗務に関わるので簡単に薬が飲めない。
- ・泊まり仕事は何歳までできるか不安。
- ・個人差とは言うけれど、一般的には男性に比べて女性は体力がない場合が多いのに、男女同じ泊り勤務の仕事をこなしていくのは平等なのか。
- ・更年期に関して同じ悩みを言い合える同僚がいたらいいと思う。
- ・乳がんなど婦人病に対する健康診断などの受診方法がわからない。
- ・会社の健康診断に婦人科の項目を追加してほしい。
- ・男性に今日のようなセミナーを受けてほしい。(女性の身体と健康についてのセミナーでした)

など

職場で困っていることはありますか。

- ・作業用の制服に着替える場所をきちんと確保してほしい。
- ・洗濯機を男女別にしてもらえないか。
- ・女性乗泊のシャワー、お風呂の数が少なく、待ち時間により仮眠時間が減っている。(多数声あり)
- ・休みを取得したくても言い出しにくいので、要員の余裕が欲しい。
- ・産休などの休暇に対して、いまだによく思っていない男性社員がいる。(当事者も傷つくし、当事者じゃない女性も不安に思っています！)
- ・来客へのお茶出しを女性に頼むことが多い。(女性の方が相手は喜ぶから～はいいわけです)
- ・力仕事などになると男性と同じ業務ができないこともある。
- ・社員間で仕事へのモチベーションの差があり、言葉や態度に出す社員がいる。周りの社員に影響が及ぶので上司はしっかり指導してほしい。

など



沢山の意見をいただきましたのですべてを紹介できずすみません。
いただいた意見は今後の交渉等に活かしていきます。ありがとうございました★
次号では後半にディスカッションをしたハラスメントの意見を紹介します！